地域医療構想調整会議での主な意見(地域医療構想に関すること)①

調整会議	主な意見
福井地域 (8月7日)	 介護施設等における医療的行為に関する課題、在宅医療の担う医師不足等の課題について、全ての地域で協議を行うべき。 介護職員の医療的行為の研修について、全県で進めるべき。慢性期病院が施設から研修を受入れることで、医療・介護連携が強化される。介護職員の研修費用について県で支援制度を創設してほしい。 入所系介護施設では協力医療機関を選定することが義務化され、医療側としては診療報酬上のメリットもある。一方で、とくに小規模な介護施設では協力医療機関の依頼先・相談先が分からない場合もあるので、例えば郡市医師会に相談窓口を設置したり、各市町を通してマッチングしたりする仕組みを検討してほしい。 介護施設と協力医療機関の間の情報共有には、「ふくいみまもりSNS」等のツールも有効 つぐみは自分一人で書くのは難しく、家族の思いも記載が必要。普及する側が書いてみることで、語り掛け方や改善点等も分かるではないか。記載例があると取り掛かりやすい。
坂井地域 (7月22日)	 若手医師が在宅医療に消極的な傾向。医師会やケアセンター等の委員に就いてもらい、在宅医療について理解を深めてほしい。若手医師が在宅医療に参画できる仕組みやインセンティブがあると良い。 コロナ禍では在宅での看取りや訪問看護、訪問介護を希望する患者が多かったが、最近は少なくなっている印象 介護職の医療的行為の研修を病院で受入れることについて、看護師が多忙な中で時間を避けるのか、安全面や責任の所在について看護部が不安に思っており、検討が必要 病院としては、医療的行為が必要な患者を介護施設が受入れてくれるのはありがたい。一方で、受入れが拡大するためには、地域の気運醸成も必要
奥越地域(8月5日)	 医療・介護連携については、構想の開始時点において慢性期病床等から在宅医療、介護施設へ移行するとした部分だけではなく、介護保険計画と整合がとれるよう全ての施設等を対象に施策を進めるべき。 奥越地域ではマンパワーが限られているため、医療機関、在宅、介護施設のどこで受入れるかを真剣に考える必要がある。 「つながるさかい」は医療・介護資源の見える化にもつながるため非常に有用 在宅での薬剤指導が少しずつ増えている。訪看としては、薬の飲み合わせや残薬管理について、薬剤師と連携したい。 診療所の医師の高齢化と後継者不在により、かかりつけ医が引退して、必要な医療を受けられなくなることを懸念

地域医療構想調整会議での主な意見(地域医療構想に関すること)②

調整会議	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
丹南地域 (7月23日)	 地域の診療所が減少し、医師も高齢化している。とくにへき地の診療所について、外来診療を維持できるのかが課題 丹南地区は看護師不足が課題。訪問診療を支える看護師が集まらないため、少ない人材を効率的に活かす取組みを進めるべき。 消防からは軽症の救急搬送が多いと聞く。公共交通機関が少なく、高齢者の独居世帯が多い地域では、軽症でも救急車を呼んでしまう。軽症だった場合に自宅へ戻る手段がない。 夜間に介護施設から搬送される際に患者の情報がない場合もあり、医療・介護の情報共有が重要 医療従事者が率先して自身のACPを行っている病院もある。
二州地域 (8月6日)	 介護施設で医療的行為ができるよう能力を上げることも必要だが、施設には夜間・休日に看護師がいない場合もある、急変時の判断は介護職には難しい等、医療側が各施設の状況を理解することも必要 急性期からの患者の受入先としてリハビリや栄養管理ができる病院の役割はさらに重要になる。 入院から在宅、介護へ移行する際に薬の問題は大きい。医療と介護の間でよく話をすることが必要 訪問看護ステーションの大規模化により、もし24時間365日の対応が可能になれば、救急の負担も減少すると推測 ACPは元気なうちにかかりつけ医と話をしておくことが必要。ACPは一度だけではなく、退院した際など要所要所で見直すことが有効
若狭地域 (8月4日)	 ・ 消防としては、介護施設から病院へ救急搬送する際に職員の同伴が難しい場合は、救急隊員のみで搬送は可能と認識 ・ 介護職による医療的行為はありがたいが、何か起こった際の責任が不安 ・ 多職種連携を図るため病院とかかりつけ医、介護関係者が集まってカンファレンスを行う必要があるが、退院前カンファレンス以外では機会が少ないと感じている。オンラインツールでカンファレンスを行えると良い。 ・ 若狭地域は公立小浜病院にしかない診療科もあり、上手な医療のかかり方や機能分化を進めることが難しい。かかりつけ医機能報告制度をきっかけに、開業医から病院へ紹介する流ができると良い。